



海

のたより



目 次	行 事 予 定
表 紙 年末パーティー P 2 新年あいさつ P 3 MCC 役員会、年末パーティー P 4 年末パーティ写真集（1） P 5 年末パーティ写真集（2） P 6,7 ホーネット牡蠣堪能クルージング	2月 27日 MCC 役員会 3月 MCC トレーニングレース 4月 3日 JSFA 三河湾周遊レース 豊橋—衣浦

MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号



新年明けまして おめでとうございます。



2011年 元旦

三河湾クルージングクラブ 会長 中村 孝

会員の皆さん 今年もよいお年をお迎えのことと お慶び申し上げます。

私、ホーネットは昨年3月に33Sを売却、エリカに間に合わせて次の艇を予定したものの思うように事ははかどらずパールにも間に合わず9月に入ってようやく西宮からシーム31を回航できました。9月からは早速MCCレース、JSACFレースに参加しMCC年間8レースの内3回は参加できました。おかげでスマールレースにはあやで5レースに参加でき、9月まではハニービーと総合優勝争いを演じることができました。

昨年のMCCレース、最終レースまでもつれたダンシングとアルミスの総合優勝争いはダンシングビーンズに軍配、4年ぶりの総合優勝でした。ダンシングはJSACFでもパールの頑張り等で年間総合準優勝を勝ち取っています。スマールは年初からセールを新調したホープとハニー、追随してバイキングも新調し熱戦を繰り広げましたが最終レース前にハニービーの優勝が決定しました。レース参加艇は伸び悩んでいますがこじんまりと活動できています。

新年度は昨年に続きラグナマリーナヨットクラブとの合同レースと早朝レースを中心に蒲郡マリンカップ、理事長杯ヨットレースそしてラグナマリーナ蒲郡10周年記念で盛り上げます。今年も「クルーザーヨットに興味を持つ人を増やす」行事、体験乗船を開催します。「7月海の日記念」「蒲郡マリンカップレース」「理事長杯レース」に合わせ検討します。行事予定は2月27日の役員会で最終決定します。会員皆さんの建設的なご意見、ご協力をお願いします。

会員各艇のご協力の下、変わらない新役員ですがMCCの発展に努力してまいります。ご協力をお願いいたします。最後に会員各艇のご活躍を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

年末には海陽ハーバーで
ミニ門松を作りました。



MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号

役員会報告

年末パーティー前に役員会を開催しました。



議題

役員改選について

11月役員会後田中監査の後任をベベの榎原氏に打診了解を得た。千春の金野氏は退会するので泊地委員を小林氏一人で対応、その他は留任の別紙役員案が提案され承認された。年末パーティー総会で承認を得て決定する。

その他

会計の経過報告があり2月役員会で承認の予定。

来年度のレース等について意見交換があり11月役員会での話の紹介、確認があった。

来年度はラグーナ10周年記念イベント、岐阜国体のプレ大会開催がある。勘案しながらMCC行事日程調整をしていく。プレ大会では海陽ハーバーの利用制限がある。具体的には聞いていないが調整が必要である。行事日程は2月役員会で決定する。

2月27日に役員会を開催します。

MCC年末パーティー

総務委員長 近藤（うらなみ）

「このローストビーフは美味しい」と誰かが言った。まったく同感である。

だいたいパーティのオードブルは都会のホテルで食べても美味しいものに当たったことは少ない。でもこのローストビーフは本当に美味しい。ローストビーフは美食あまたあふれるヨーロッパで食の最貧国の一つであるイギリスの唯一世界に誇れる料理である。美食家で知られた作曲家の團伊玖磨の著書パイプのけむりによるとロンドンのウォータールー橋に程近く1828年から営業しているシンプソンというレストランのローストビーフが大変美味しく、味、柔かさ、色の全てが絶妙だと書いてあるが蒲郡荘のローストビーフもその3つが揃っていた。ローストビーフを中心にお腹を満たした。

レースの表彰は優勝ダンシングビーンズ、準優勝アルミス、第3位オデッセイで皆の盛大な拍手で祝福された。パーティの状況は次ページの写真を見てください。

ここ数年のヨット界の悩みはヨット人口の減少とレース参加艇の減少であるがバブル経済崩壊以降のいわゆる「失われた20年」がその原因の一つだと思う。そうであれば世の中が活力を取り戻すのを待たねばならぬ簡単な事ではないと思う。

二次会のままやは毎年のごとく各テーブルから話し声と笑い声が絶えず大盛り上がりでヨットに関わっておれて良かったと思い、これからも続けていきたいと改めて思った。

JSAF外洋東海 年末パーティー

12月5日ラグーナのラ・メゾンプランシュにてJSAFパーティーが開催されました。

天気もよくポンツーンに舫われたヨットを眺めながらのパーティーでした。

席上チャンピオンシップレースと年間表彰もありました。
ダンシングビーンズが見事総合準優勝を得、表彰されました。



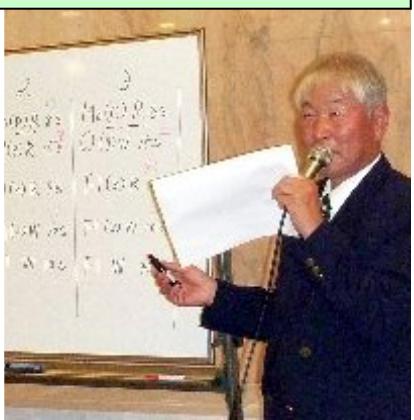
MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号



参加者も多く、和気合いあい
楽しい年末パーティーでした



恒例のbingoゲーム、リーチしてもなかなか…
今回はナビゲーションクイズもありました。2次会も楽しみました。



MCC海のたより1月号MCC海のたより1月号MCC海のたより1月号

MCCレース年間表彰

総合優勝はダンシングビーンズ、準優勝はアルミス



3位オデッセイ、4位ルートris、5位ベベ、



6位スーパー・ウェーブ、7位セlestiヌ、8位ホーネット 9位ランナー、10位うらなみ



スモール 総合優勝 は
ハニービー



2位あや、3位バ・イシグ、
4位ホープ、5位L・ウインディ、
6位メーヴェ



MCC海のたより1月号MCC海のたより1月号MCC海のたより1月号

牡蠣堪能クルージング 初日

ホーネット 多田

今年も、行って来ました！牡蠣堪能クルージング！

突風一過の、穏やかな晴天でのんびりと快適なクルージングが出来るかな？？って甘い期待で海陽に行って、やっぱ甘かった～～((((((^_^;)～～ 「海をなめたらあかんぜヨ！」(今では流行遅れ?)

突風はないけど・・・一面が白波の海面(>_<) でも予報では「風がおさまる」ってことで、田中(絹風)・本間(Viking)・高橋(ホーネット)・多田の4人で10時に出航し1ポのメインで様子を確認。

西浦を越え鳥羽まで一直線！っとと、やっぱり風が強すぎ～～～「遊びで乗るのにつら一い思いしてまでは・・・って、ちょっと風待ちしてからでも・・・」と思い直して形原港で小休止。

軽一く1杯頂いて、待つこと・・・暗くなってから着く時間では最悪！(着岸できずに引き返す?)ってことで、とりあえず12時半に再出航。風待したかいが有って多少弱くなったと思いつつも、ちょっと遊びで乗るには強すぎ！！！ マア贅沢言わず、そのまま鳥羽へ～～

途中、伊良湖水道を出航していく大型船団の間をくぐり抜け、風がようやくおさまりかけたところで、1ポを解除してフルメインにしたら、ナ！ナント！メインのフットが裂けた！！

自分は、このメインの経験を良く知りませんが・・・・旧々ホーネット(IMS 950)で使用し、その後 九州・釜山での回航クルーズ(Y33S)に使用、さらに今後もクルージングに使用の予定？？？

今回裂けたのは、フットをグループに通したのが原因では？(多田の個人的な見解です。)ってことはルーズフットなら裂けたままでも使用可能？

・・でも、物には限度って有りますので、あまり無理して使っても・・・。

再度、1ポにして生浦へは4時半頃に到着
(明るいうちに着けて一安心)

予約してある海香の桟橋に着岸後、部屋に入ってチヨッと一杯頂いて小休止、温泉に入りゆったりし超豪華な夕食を頂きました。

翌朝は快晴で、絶好のクルージング日和
さてさて・・・・

この後は、本間先生へバトンタッチします。



MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号

牡蠣堪能クルージング 翌日

Viking 本間

翌朝は、朝風呂に入りチョッと一杯しているところに
「朝ごはんの準備が出来てます」と呼ばれので
飲みかけのビール持参で、朝食場所へ移動して
昨晩の続きで、豪勢な朝食を堪能させて頂きました。
牡蠣を仕入れるにはまだ早い時間なので
部屋で小休止してから、準備を整えて出航。

出航後の湾内は波のない水面に時折漣が立つ程度で

民宿から牡蠣漁師の仕事場までの 0.5km ほどを牡蠣棚や釣り筏の間を縫って走り、牡蠣の殻付きと剥き身を首尾よく手に入れて、さて家路へ、までは良かったが。帰途は湾央までは民宿からの航路を反航し、湾口へ出ればよいと思い、暫くはカメラに用はないので、本間はキャビンに下りて、テーブルの後で腰を折って、カメラをバックに収めていた。湾口へ向かう前に突然、カン高い大きな衝撃音に包まれた。キャビンの中では船体全体が音源になって振動し、無数のサラウンドスピーカーに包まれる状態で、かなり大きな音に感じた。デッキを覗くと、皆さん一寸、顔をしかめていた程度でデッキではあまり大きな音ではなかったようだった。衝突の瞬間、体が前に押しやられたが、どこかに手を突いて体を支えるほどでもなく、足だけで立っていられた。もともと静かなエンジンで、スクリューに無理がかかり、エンジン音が変化した様子も感じられず、キールが当たったにしても、横から“かすった”的なと思われた。すかさず田中さんがキャビンに下りて、床板を揚げてキール取り付け部を点検してくれたが、水漏れはないとのことだった。

そんなことで兎も角、予定通りに帰途に着いた。



帰りは御木本真珠島の海女の実演を海上から見学し、菅島航路を通って、出口の赤ブイから開けた海面に出たが、風は昨日よりずっと落ちて、白波も消えていた。神島へ近寄り、そこから立馬岬のやや北へ変針して伊良湖水道を通過したが、前日、土曜日は南航船ばかりがかなり密に走っていたが、この日、日曜日は北航船が遙か南にあるだけで、進路を維持したまま横切ることができた。

我国では余裕で週末は荷役作業をしないのか、不景気で作業がないのかなど話しながら走り、風はさらに落ちていくようすで、三河湾とは違ったきれいな海をポートタックで日光を浴びながらの快適なクルーズになった。

伊良湖水道を横切って、買い込んだばかりの牡蠣と前日積み込んだ野菜類で高橋さん、多田さんが腕を振ってたっぷり牡蠣の入った牡蠣鍋を作ってくれて、お腹を一杯にした。

風が 5m/s 以下に落ちた中を立馬岬からアビーム一本のほぼ直線で蒲郡ヨットハーバーへ到着、セールなどを降ろして、16 時過ぎに海陽に帰着、上架した。連れて行ってくれた皆さん、有難うございました。

今回、ホーネットのクルーズに参加し、良い経験がでました。皆さんも参加しませんか。

MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号・MCC海のたより1月号